

ヒシヤクゴケ科

コオイゴケ

Douinia plicata (Lindb.) Konstant. & Vilnet

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

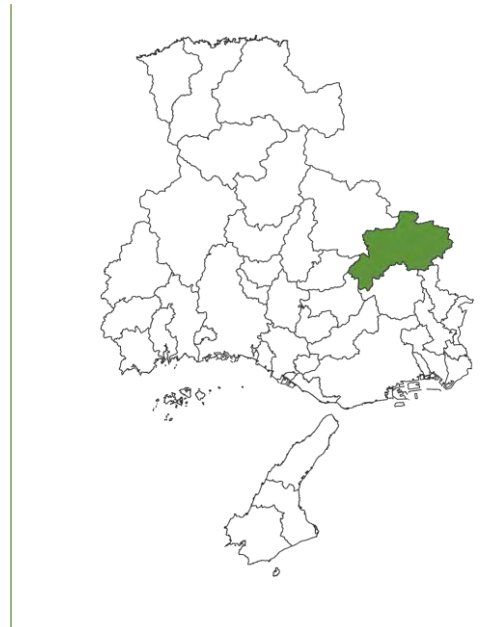
丹波篠山市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

現状不明。旧学名 *Diplophyllum plicatum* Lindb. ≡ *Macrodiplrophyllum plicatum* (Lindb.) Perss. (*Macrodiplrophyllum* は *Douinia* の異名とされた) 近畿地方では唯一の産地。

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

植物体は黄緑色。茎は長さ3-7cmで分枝は少ない。腹片は鎌状長舌形、長さ1.4-3.5mm、円頭、全縁から微齒状。背片は腹片の2/3長、円頭。キールは腹片の2/5長、強く曲がる。葉身細胞は厚壁、トリゴンが大きく、表面にベルカがある。雌雄異株。無性芽は金平糖状、2-4細胞からなる。本来は亜高山帯以上の腐植土上に生育する。シロコオイゴケ属に似るが、植物体はより大型で、葉細胞のトリゴンが大きい点といった点で区別できる。